

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- ・台風第31号については最新の台風予報を参照。
- ・11月2日は、低気圧が日本海を通して北日本付近に進み、3日にはカムチャツカ半島の南に進む。
- ・3日は、高気圧が黄海付近に移動し、北日本中心の冬型の気圧配置となる。
- ・4日から5日にかけては、高気圧が本州付近を通して日本のはるか東へ移動する。
- ・5日から6日にかけては、気圧の谷が日本付近を通過し、次第に西高東低の冬型の気圧配置となる。

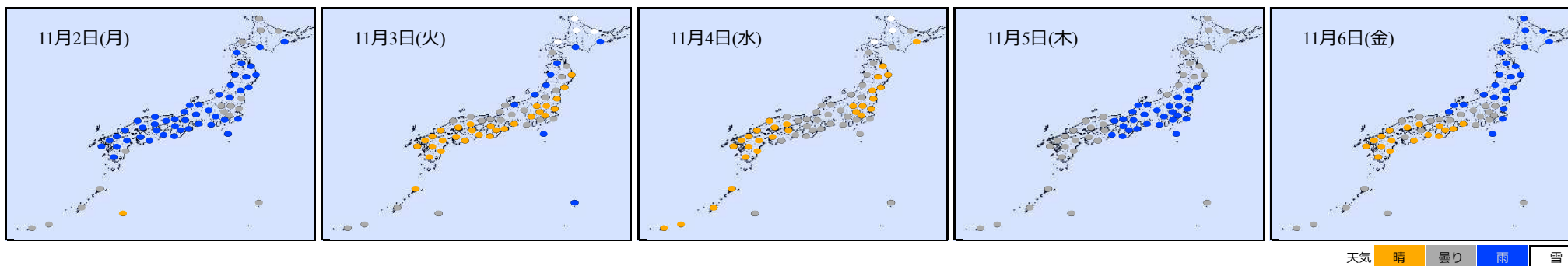
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- ・なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

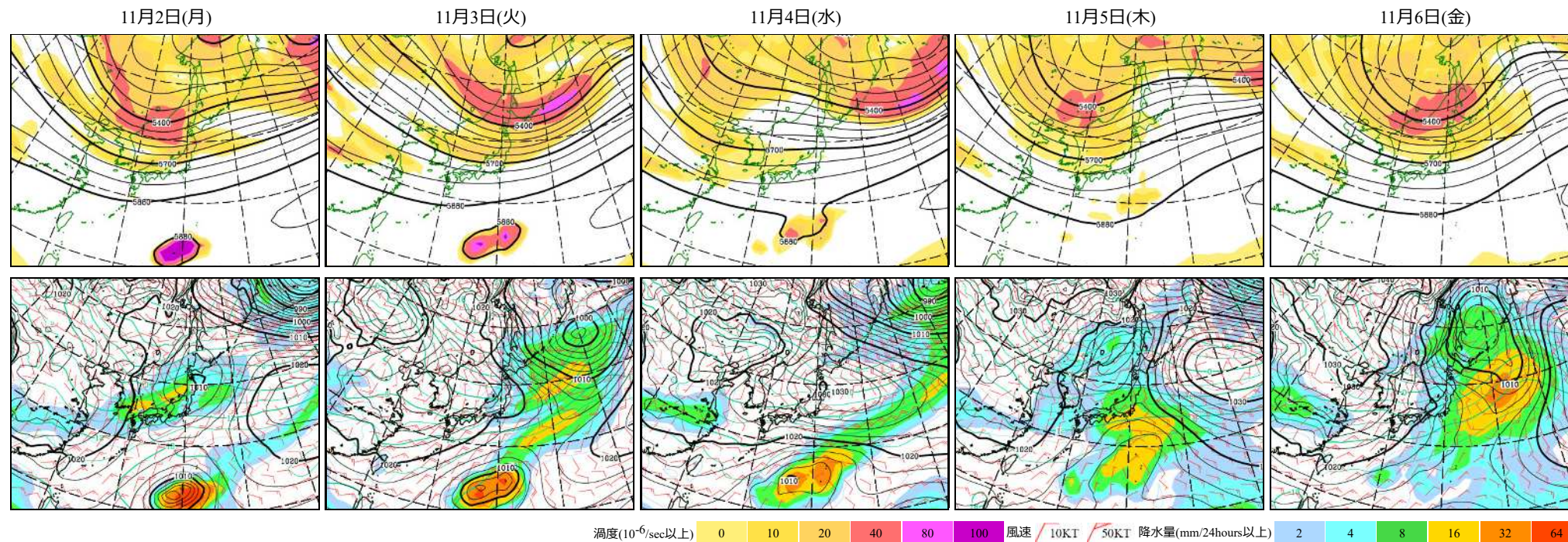
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

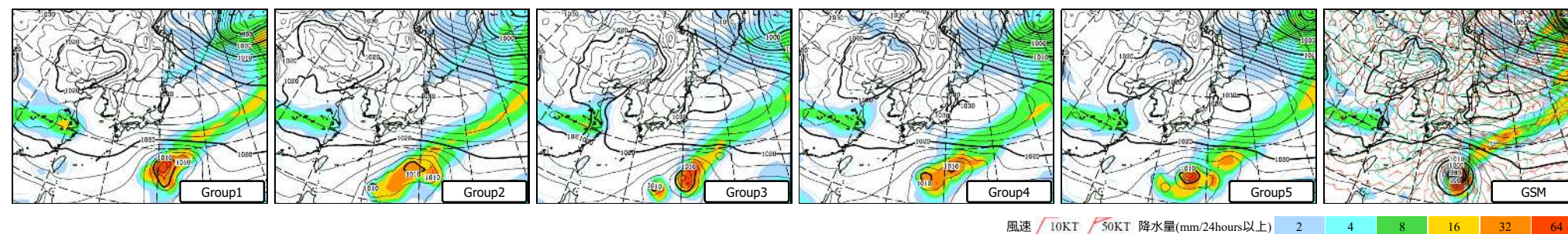


- ・北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。11月3日と4日は晴れる所がある。
- ・東日本太平洋側は、晴れる所もあるが雲が広がりやすく、2日と5日から6日にかけては雨の降る所がある。
- ・西日本は、晴れまたは曇り日が多い。2日と5日は雨の降る所がある。
- ・沖縄・奄美は、晴れる所もあるが、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、850hPa気温、前24時間降水量(21時)



◆11月4日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSM予想図 海面気圧、地上風及び850hPa気温(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、大きな初期値変わりはないが、11月3日頃に北日本に進むトラフの東進がやや遅くなり、5日頃に北日本を通過するリッジがやや強くなった。地上の気圧配置は、大きな初期値変わりはない。
- NCEPは11月4日以降の初期値変わりが大きい、その結果、モデル間の差は昨日資料よりも小さくなった。
- 台風第31号については、各モデルともに日本の南で進路を北東に変えると予想する。ENSは、ほとんどのメンバーが同様の予想だが、西に進むメンバーもわずかにある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。